

## 利根川水系における渇水の状況について

### 本日のポイント

#### ○渇水の概況

- ・ 6 月 1 3 日未明以降、平年の半分程度ではあるもののほぼ毎日の降雨があったことから、利根川上流 8 ダムの貯水率は 6 月 1 4 日に 3 7 % まで低下した以降ほぼ横ばいを維持し、6 月 3 0 日 0 時現在では 3 9 % となっている。
- ・ 5 月 2 6 日以来、貯水量は現在の 8 ダム体制となった平成 4 年以降の過去 2 5 年間で最少のまま(平年の 5 6 %)。

#### ○関東地方整備局の対応

- ・ 6 月 1 6 日から利根川、江戸川、鬼怒川、神流川において取水制限中 (1 0 %)。
- ・ 6 月 2 5 日から渡良瀬川において 2 0 % 取水制限に移行

#### ○今後の見通し

- ・ 関東甲信地方では向こう 1 ヶ月の間、前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、後半は平年同様に晴れが続く見込み。降水量は年年並の模様(6 月 3 0 日 気象庁発表)。

### 1. 渇水の概況

- 今年、利根川水系において累加降雪量が平年の 5 割程度(藤原ダム地点)と記録的に少なく、雪解けが平年に比べ約 1 ヶ月早い状況。
- 少雪に加えて、5 月の降雨量が例年の 4 8 % 程度(総雨量 5 6 mm)と少なかったことから、下流の取水量確保のためのダムからの補給に伴い、ダム貯水量が低下。
- 利根川上流 8 ダムの貯水率は、6 月 1 4 日に 3 7 % まで低下した以降ほぼ横ばいを維持し、3 0 日 0 時時点では 3 9 % となっているものの、貯水量は平年同時期の 5 6 % で、現在の 8 ダム体制となった平成 4 年以降の過去 2 5 年間で最少のまま。なお毎年 7 月 1 日以降、夏季は洪水用の貯留容量の割り当てを増加させる分、利水用の貯留容量を減じる必要があることから、7 月 1 日を境に貯水量が同じでも貯水率は不連続に大きくなり、7 月 1 日 0 時現在で 5 2 % (6 月末までの計算方法で換算すると 3 9 %) となっている。

### 2. 取水制限の状況

#### ○利根川水系渡良瀬川

- 6 月 1 1 日(土) 9 : 0 0 ~ 取水制限 (1 0 %)
- 6 月 2 5 日(土) 9 : 0 0 ~ 取水制限 (2 0 %) に移行

- 利根川水系利根川、江戸川、鬼怒川、神流川  
6月16日（木）9：00～ 取水制限（10%）

### 3. 国土交通省の対応

- 6月 7日（火） 国土交通省 水管理・国土保全局 渇水情報連絡室設置  
○6月14日（火） 国土交通省 渇水対策本部設置

### 4. 関東地方整備局の対応

- 4月 8日（金）第1回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会（春季定例会）  
○6月 7日（火）第2回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会開催  
○6月14日（火）利根川水系渇水対策連絡協議会開催  
・6月16日（木）午前9時より10%の取水制限  
・今後利根川上流8ダムの貯水量が1億5千万m<sup>3</sup>を下回った場合、翌日の午前9時から20%に取水制限を強化  
○利根川上流8ダムからの補給と下流施設を活用し、利根川水系全体でより効率的な水運用を実施中。  
・北千葉導水路※により、利根川下流部から江戸川へ導水。  
・三郷放水路※により、中川から江戸川へ導水。  
・利根川連絡水路※（霞ヶ浦開発施設）により、霞ヶ浦から利根川へ導水。

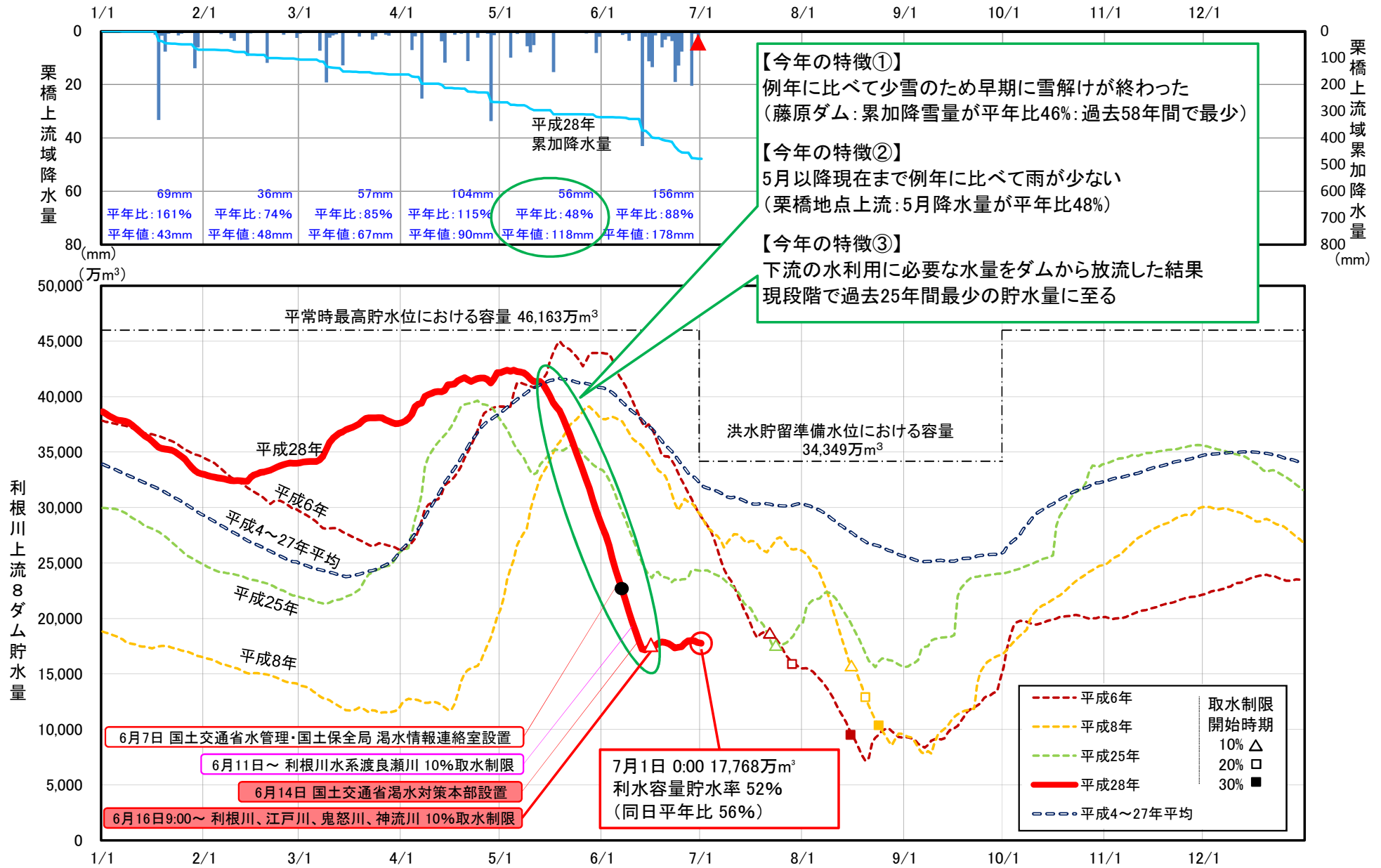
※上記3水路は、河川の状況に応じ導水を実施

### 5. 今後の見通し

- 関東甲信地方では、向こう1ヶ月（7月2日～8月1日）の間、期間のはじめは少雨の状態が続くところがあるものの、前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、後半は平年同様に晴れが続く見込み。降水量は年年並の模様。（6月30日 気象庁発表）

# 利根川上流8ダム貯水量履歴図

平成28年7月1日0時現在



**【今年の特徴①】**  
 例年と比べて少雪のため早期に雪解けが終わった  
 (藤原ダム: 累加降雪量が平年比46%: 過去58年間で最少)

**【今年の特徴②】**  
 5月以降現在まで例年と比べて雨が少ない  
 (栗橋地点上流: 5月降水量が平年比48%)

**【今年の特徴③】**  
 下流の水利用に必要な水量をダムから放流した結果  
 現段階で過去25年間最少の貯水量に至る

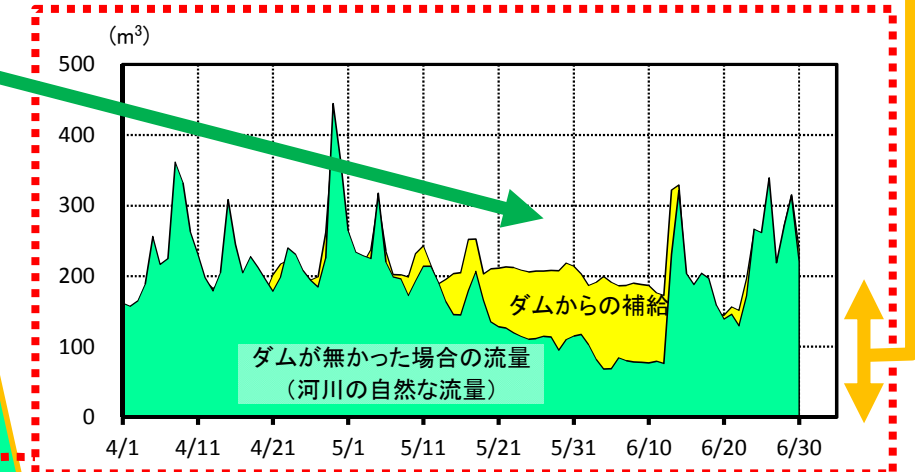
# 利根川上流8ダムからの 放流と取水との関係

平成28年6月30日現在 ※1

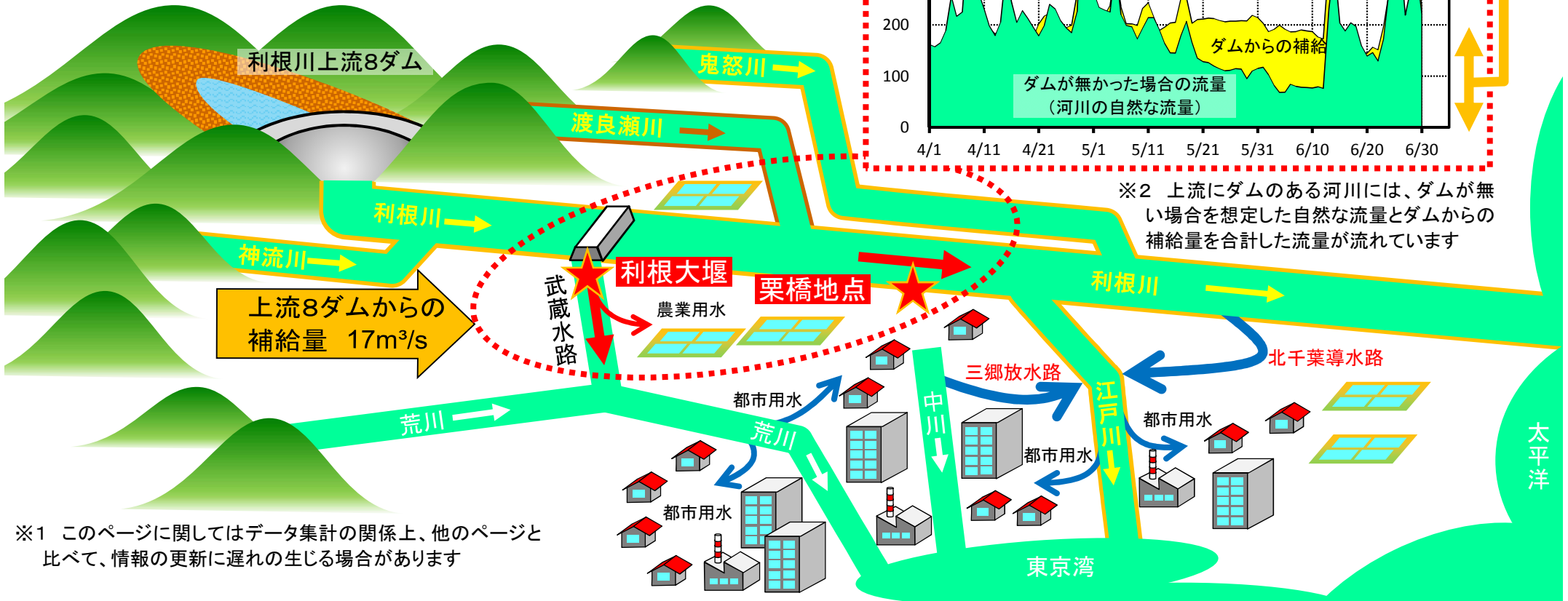
## 【今年の特徴③'】

5月以降の小雨により、河川の自然な状態での流量が減少したことから、**下流の水利用に必要な水量をダムより補給(放流)した結果、ダムの貯水量が低下**

利根川・江戸川・荒川3河川の水需要に対して、必要な取水量を確保するため、**利根大堰からの取水量と栗橋地点での流量を合わせ、一定の流量の確保が必要**※2



※2 上流にダムのある河川には、ダムが無い場合を想定した自然な流量とダムからの補給量を合計した流量が流れています



※1 このページに関してはデータ集計の関係上、他のページと比べて、情報の更新に遅れの生じる場合があります